

第5回 天神川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日時：令和元年5月23日(木) 15時30分～16時30分

2 会場：国土交通省倉吉河川国道事務所会議室

3 出席者

(委員)

倉吉市長(代理) 総務部長 田中 規靖

三朝町長(代理) 参事 河村 明浩

湯梨浜町長(代理) 副町長 亀井 雅議

琴浦町長(代理) 総務課長 山田 明

北栄町長 松本 昭夫

鳥取中部ふるさと広域連合(代理) 警防課長 山崎 照美

気象庁 鳥取地方气象台長(代理) 防災管理官 西村 修一

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長 高木 繁

鳥取県 危機管理局長(代理) 副局長 國米 洋一

鳥取県 企業局長 松岡 隆広

鳥取県 県土整備部長 草野 慎一

鳥取県 中部総合事務所県土整備局長 酒本 勇一

4 議題

(1)「減災に係る取組方針」の見直しについて

(2)今年度の予定について

(3)「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂について

5 議事概要

○「減災に係る取組方針」の見直しについて

「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の報告書を受け、「ダム放流時の安全・避難対策」を充実させるとともに、「安全で安心して過ごせる避難所の開設」などの対策を追加して取り組んでいくことを確認した。

○減災対策協議会における今年度の取組について

今出水期に向け、ダム事前放流の本格運用やダム放流操作等の住民説明、避難訓練・水防訓練等に取り組んでいること、また、河床掘削・樹木伐採等の治水対策を進めていることなどを説明した。

引き続き、河川カメラや水位計の増設、ダム下流域の浸水想定図の作成、支え愛マップ作りの支援等、円滑な住民避難に資する取組などを進めて行くことを確認した。

中部総合事務所の今年度の取組、昨年度の豪雨災害の状況について説明を行った。

○「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂について

避難に関する新たな5段階の警戒レベルについて、当協議会における運用の確認を行った。

(主な意見)

- 県管理ダムだけでなく利水ダム等についても浸水影響が知りたい。浸水想定図の作成をお願いしたい。

- 東郷ダムについても、ダム機能等の住民周知等を行っていただきたい。

- 協議会等の取組には感謝しているところだが、引き続き河川改修を進めていただくようお願いしたい。

- 河川防災ステーションを利用した訓練について、訓練に参加したい